



一人ひとりが主役の長野県を!! 働く者・生活者の声を県政へ届ける!!

阿部知事に「長野県政への要請」を提出!

12月8日(木)長野県庁において、阿部知事に対し、2016年度「長野県政への要請」を提出した。「雇用」「経済」「暮らし」の底上げに関して、中小企業・地場産業への支援の拡充・良質な雇用の創出、職場における労使協議の充実、安定雇用への転換促進、育児・介護と仕事との両立支援、給付型奨学金の拡充、地方創生・地域活性化に向けた取り組みなど15項目を申し入れた。

要請項目は、各職場・地域から寄せられた提言を政策委員会(村山智彦委員長)が中心となりまとめた「県政への要求と提言」に基づき、9月から10月にかけて行った担当部局長折衝の内容を精査し提出した。



要請書を手交(左:阿部知事 右:中山会長)

冒頭、中山会長の挨拶では、「働く者のおかれた実態は厳しく日常生活の不安が将来の不安につながっている。ここで生まれて、働いて、幸せだと思えるような長野県にするため、県行政と連携して取り組んでいきたい」と述べ、非正規労働の増加や過労自殺につながる長時間労働の是正、若者や女性の雇用環境の改善や働き方改革について訴えた。

根橋事務局長からの要請趣旨説明では、県が中心となり議論されている働き方改革・女性活躍推進や地方創生について、「働く者・現場の視点に沿った施策の展開が必要である。職場においては労使がしっかり向き合った議論を行うこと、地域においては、行労使の協働に加え、多様な主体との対話と連携が必要である」と訴えた。

阿部知事からの挨拶では、「子どもが夢と希望を持てる社会にしていきたい。格差の拡大や非正規労働などを極力改善するとともに、働き方改革も行っていきたい」と述べ、対策の検討を進める考えが示された。その後、学生などがアルバイト先で不当に働かされるいわゆる「ブラックバイト」

問題や、女性の活躍推進とワークライフバランスの実現について意見交換を行い、関係団体の連携や、中小企業への働きかけを要請した。

連合長野は政策委員会を中心に、引き続き2017年度も県内構成組織・地域協議会、組合員11万5,000人の声を県政に届け、働く者・生活者の立場からの政策提言をめざしていく。

《長野県政への要請項目》～抜粋～

- 多様で柔軟な働き方について、労使で十分な話し合いを行うとともに、労働関係法に基づく運用の徹底や解雇の誘発防止
- ワークルールの徹底と長時間労働の解消や年休取得促進、男性の育児参画などワークルールの実現に向けた取り組み
- 誰もが平等な教育を受けることができるよう、奨学金を地域福祉政策として位置づけ、県のネットワークを活用した様々な形での教育格差に対する改善策の検討
- 行政とNPO団体の連携強化と、地域住民の視点にたった具体的な支援策が展開できるよう、部署間を超えた横断的な体制整備

地域より
元気発信!!

全地協にて定期総会を開催! 働くすべての者のクラシノソコアゲに向けて、 2017年度の運動を力強く進めていこう!!

11月から12月、県内各地域協議会にて定期総会が開催され、2016-2017年度運動の後半1年間の方針を確認した。組合員が一番近い地域での拠り所となるべく、引き続き全力で取り組みを展開していく。

高水地協:11月26日(土) アップルシティーなかの



萩原 公和 議長(私鉄労連 長野電鉄労組)
丸山 淳市 事務局長(JP労組 北信支部)

長野地協:12月 3日(土) ホテル犀北館



和田 喜雅 議長(電力総連 中電労組長野支部)
宮坂 達也 事務局長(自動車総連 KYB-YS労組)

上小地協:12月 2日(金) 上田市勤労者福祉センター



下村 敬貴 議長(電機連合 山洋電気労組)
土屋 敏幸 事務局長(自動車総連 城南製作所労組)

佐久地協:11月22日(火) 小諸市ステラホール



依田 孝彦 議長(JAM甲信 TDK労組浅間支部)
山本 郁 事務局長(自治労 小諸市職労)

組みあわせてますます安心 全労済の

2016年2月 制度改定

マイカー共済

自動車総合補償共済

基本補償

<p>ご自身の補償 (人身傷害補償)</p> <p>最高 5,000万円 (自動車事故傷害見舞金付)</p>	<p>相手方への賠償 (対人賠償) (対物賠償)</p> <p>無制限 無制限 (対物賠償修理費用) (盗難付)</p>
---	---

故障の上でも安心! (24時間・365日)マイカー共済ロードサービス付

お車の補償(車両損害補償)

一般補償

付随諸費用補償

特約・割引

New 運転者本人・配偶者限定特約

Powerup ハイブリッド車割引

自賠責共済

自動車損害賠償責任共済

自賠責共済(保険)とは、自賠法(自賠責保険についての法律)によって、道路を走るすべての自動車(二輪車を含む)・原付自転車を使用する際に、**加入が義務づけられている共済(保険)です。**

●お支払いできる事故

ご契約車両を運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたことにより賠償責任を負った場合に共済金を支払います。

●お支払いの内容

死亡	最高 3000万円	※神経系統・精神・脳器臓器に著しい障がいを持って介護が必要な場合 常時介護(4,000万円(第1級)) 臨時介護(3,000万円(第2級)) 上記以外の後遺障がい 3,000万円(第1級)~75万円(第14級)
けが	最高 120万円	
後遺障がい	程度に応じて4000万円~75万円	

マイカー共済・自賠責共済 あわせてのご加入をおすすめします。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

諏訪地協:11月25日(金) 諏訪市文化センター



田中 総 議長(自治労 諏訪市職労)
中村 廣明 事務局長(電機連合 日本電産サンキョー労組)

大北地協:12月 2日(金) 上松町ひのきの里総合文化センター



山岸 泰男 議長(JP労組 安曇支部)
杉田 豊 事務局長(自治労 大町市職労)

上伊那地協:11月25日(金) 伊那プリンスホテル



日比野 誠 議長(JP労組 上伊那支部)
永田 勉 事務局長(JAM キッツ労組伊那支部)

松本広域地協:11月25日(金) 松本勤労者福祉センター



佐藤 幸司 議長(JP労組 中信支部)
木下 信幸 事務局長(UAセンセン アップランド労組)

飯田地協:11月27日(日) JAみなみ信州営農部



竹村 進 議長(JAM 多摩川精機労組)
北原 研二 事務局長(JP労組 下伊那支部)

木曾地協:12月 9日(金) 長野労金大町支店



西尾 学 議長(基幹労連 IHIターボ労組)
水本 崇徳 事務局長(自治労 木祖村職労)



ろうきんは、みんなつかえる。
冬の生活応援キャンペーン 2017年 1月31日(火) まで

**特別金利
定期預金**

※インターネットバンキング・テレ
フォンバンキング・ATMによる
お預け入れは、特別金利定期預金
の対象外となります。

預入期間 **1年**

年 **0.10%**

税引き後 年 0.078%

預入期間 **3年**

年 **0.12%**

税引き後 年 0.095%

預入期間 **5年**

年 **0.14%**

税引き後 年 0.111%

- 対象/キャンペーン期間中に新規でお預け入れの個人の方
- 預入期間/1年・3年・5年
- 対象預金/スーパー定期預金・大口定期預金

預入金額 **5万円** 以上

長野県労働金庫

「第27回青年委員会定期総会」を開催

連合長野青年委員会(山野井正委員長:情報労連)は、12月3日(土)、長野県松本勤労者福祉センターにおいて、各構成組織から27名(男性19名、女性8名)の参加のもと「第27回定期総会」を開催した。連合長野青年委員会は、年2回のユースラリーを中心に、社会の課題に対する様々な学習と、連合に集う仲間との交流を通じ、組織の強化・発展と連合長野の次代を担う青年の育成をはかること目的に活動を行っている。

冒頭、山野井委員長と担当役員の倉沢副会長の挨拶の後、来賓より連合長野根橋事務局長から、多くの仲間との対話・意見交換の重要性や青年層へ期待を込めた激励のメッセージをいただいた。

その後、窪田事務局長より、「2016年度経過報告」

「2017年度活動方針」が提案されたのち、松島幹事より2017年度役員選出について報告され、青年委員会結成以来の基本理念である「学習・交流・行動」を繰り返しながら、構成組織の青年組織との一層の相互理解と幅広いネットワークを作ることが確認された。

最後に、宮川直樹新委員長(農団労)による団結ガンバローを会場全体で力強く三唱し、2017年度青年委員会が始まりました。



2016年度の青年委員会幹事の皆さん

青年委員会講演会を開催 ～今、求められるのは、高い志を持つこと～

総会終了後、(公社)教育文化協会・(公財)国際労働財団理事長の南雲弘行元連合事務局長による『「これまで」と「これから」』と題した講演会を開催した。

はじめに、南雲理事長から役員となる前の青年活動のエピソードとして、「なぜ青年活動に身を投じたか?入社間もなく大怪我で4年間の入院・リハビリを余儀なくされ、同期・後輩に後れを取った。そんな自暴自棄になっていた時に労働組合の青年リーダー育成講座の案内を見て、何か自分を変えてみようと思い、この世界に飛び込んだことがキッカケ。日々充実していた青年活動やその後自分の証を創ろうと奮闘した書記長時代を含め、「職場原点」を貫いてきたこの経験こそが、今の自分を創っている」と、組合活動を通じての想いが語られた。続いて、「今日参加して終わるのではなく、この経験を

出発点として、職場や社会で自分のためではなく、他人のため何をすべきかということを考え行動に移してほしい。

人前でしゃべることは大変だが、間違っても良いから人の前で発言するといった常に一步前へ出ることが必要だ」と、自らを変えていく必要性についてアドバイスいただいた。

最後に皆さんに期待することとして、「和と積」同質の協力は和(足し算)にしかならないが、異質の協力は積(掛け算)になる、「意見交換から理解しあう」、「高い志を持とう」という力強い3つのメッセージをいただいた。

講演を受け参加者からは「決意を新たにしてくれからの青年活動に取り組みたい」との感想が聞かれた。



ご講演いただく南雲理事長

求めています。土地・中古住宅情報

長野県下全域に1,700戸を超える優良宅地『レインボータウン』を分譲しました。
まずは信頼の住宅生協にご相談ください。

長野県労働者住宅生活協同組合

〒380-0838 長野市東町523番地 ろうきんビル7F tel.026-234-0283 <http://www.jyusei.jp/>
松本事務所 / 〒390-0841 松本市曙1丁目2-1 tel.0263-88-5061

土地を売りたい
中古住宅を売りたい
買取り価格の査定をして欲しい